

広島県聴覚障害者センターだより



Hiroshima Chokaku Center

広島県聴覚障害者センター

〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29

電話：082-254-0085

FAX：082-254-0087

E-mail minami@hiro-chokaku.jp

URL hiro-chokaku.jp

No.10 2018(平成30)年4月1日発行 (毎月1日発行)

ろう者と企業の意見交換会を終えて

3月18日(日)の耳の日大会終了後、聴覚障害者(広島県ろうあ連盟)とマツダ(株)、(株)マツダ E&T による意見交換会がセンターで開かれました。医療機器、福祉機器を製造している企業の開発サポートを行っている広島県庁商工労働局 医工連携推進プロジェクトチームから、センターに意見交換会の場を設定できないかという依頼があり、開かれることになったという経過があります。

当日は、広島県ろうあ連盟から8名、マツダ(株)、(株)マツダ E&T、ひろしま産業振興機構、広島県から各1名の出席があり、センターからは松岡が出席しました。

はじめに、「今まで聴覚障害者から直接意見を聞くことができなかった。今回は、実際に車を運転している聴覚障害者に日頃の運転で困ったこと、不満などを聞き、開発に役立てたい」という説明が企業側からありました。

「4 輪駆動車に乗っていた時に、急にハンドルに振動が伝わり、ハンドルが取られそうになったことがある。それ以前に、悪路を走った時にも、振動を感じたことがあり、何とかそのまま運転を続けた。車から降りて、タイヤを見るとパンクし、ホイールが歪んでいた。多分、大きな異音があったと思うが、気が付かなかった。エンジンの異常や車の異音が聴覚障害者にも伝わる方法を考えて欲しい。」「救急車の接近は、バックミラーに写る回転灯や周囲の車の動きで察知している。サイレンだけに反応し、運転手にお知らせする装置はできないか。」

4時から5時までの1時間という時間の制約はありましたが、聴覚障害者側から次々に体験談、提案が出され、あっという間に時間が過ぎました。「新しい機能が開発され、追加されるのは嬉しいが、オプション扱いとなり、使用する聴覚障害者だけが費用を負担することになるのはどうか。テレビの字幕放送は、テレビ購入者が負担するしくみになっている。同様の方法をとって欲しい。」「新しい機能が聴覚障害者にとって役立つかどうかは、実際に聴覚障害者が運転してみて初めて分かる。新車テスト、機能テストに聴覚障害者も呼んで欲しい。広島県ろうあ連盟も協力は惜しまない。」とまとめの意見が出て意見交換会は終わりました。

後で、「実際にこの様な場を作らないと分からないような意見、課題が多くあり、改めて、ものづくりを行う上で重要なことは何かを感じた。」という感想が県の担当者からありました。聴覚障害者と企業をつなぐセンターでもありたいと感じた一日でした。(松岡)

